



秋の夜長を楽しんだギャラリーコンサート

9月18日、月夜の芸術館ギャラリーコンサート」が洞爺湖芸術館で開催。ふ

だん閉めている夜の芸術館に、歌声とピアノ、そしてヴァイオリンの音色が響き、約80人の聴衆を魅了しました。

秋の夜に絵画や彫刻といっしょに音楽も楽しもうという贅沢な洞爺湖芸術館の企画。

当日の出演は、加藤亮子さんの歌に、伴奏は、ピアノが川津悦子さんと金子愛さん、ヴァイオリンには三浦裕加さん。第1部は、アヴェ・マリアなどクラシック中心の構成で4曲歌い、第2部は打って変わってポピュラー曲6曲を披露。最後に沖縄の名曲「花」をしっとり歌いあげてコンサートを終了しました。

夜の芸術館コンサート 文化の秋を満喫

本町・入江保育所合同運動会 青空に元気な声響く

秋 晴れの下、9月24日、本町保育所・入江保育所合同運動会が、虻田小学校グラウンドで行われました。

園児らがかけっこや遊戯など元気いっぱい日頃の練習の成果を披露しました。

4歳児の親子競技大玉転がし「なかよく一緒に」では、子どもの身長と同じくらいの大きな玉を親子一緒に力いっぱい転がし、運動会を楽しみました。

会場では、子供たちの一生懸命な姿に、訪れた保護



親子仲良く大玉転がし

者らからたくさんの声援が送られていました。

前川さん青年海外協力隊派遣 ジャカルタで手芸講師

海外青年協力隊機構（JICA）の青年海外協力隊員として、インドネシアの首都ジャカルタへ派遣されることになった前川貴恵さん（月浦区）が、9月20日役場を訪問し、真屋町長に抱負を語りました。

前川さんは、町内の薬局に勤務していましたが、大学時代から興味をもっていた海外協力隊に改めて強い意欲を持つようになり、昨秋応募。今年2月に、現地の職業訓練校で2年間手工芸を教える事が決まり、今月24日に洞爺湖町をたつことになっています。



真屋町長に抱負を語る前川さん(右)

「手に職をつけてもらい、貧富の差の解消に貢献していきたい」と強い意欲を語りました。



厳粛な中で行われたアイヌ先住民族慰霊祭

洞爺湖アイヌ協会（妻木征男会長）

は、9月25日、平成28年度

洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭を歴史公園にある先住民族慰霊碑前で行いました。同協会の会員や行政、議会、教育関係者ら約25人が参加して先祖の霊を慰めました。

洞爺湖アイヌ協会の妻木会長が祭司を務めてカムイノミ（神への祈り）を行い、火の神、幣場を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げ、イチャルパ（先祖供養）では、女性らが先祖の霊に供物を捧げました。

最後に妻木会長が「アイヌ民族の誇りを持ち、伝統と文化を後世に継承していきたい」と挨拶し、慰霊祭を終えました。

神への祈りと先祖供養 アイヌ先住民族慰霊祭



まちのわだい